



「新工場という大きな舞台をつくったので、従業員には主役になって縦横無尽に演じてもらいたい」と話す清水社長

株式会社清水精機



所在地 日高市高富94-1
 代表者 代表取締役社長 清水 貴博 氏
 事業内容 精密板金部品（医療機器、光学・測定機器、食品機械用等）の製造
 資本金 1,200万円 従業員数 38名
 T E L 042-985-0888
<http://www.shimizuseiki.co.jp>

2023年5月の新工場完成により、さらなる飛躍を見据える同社の清水社長に話を伺いました。

■貴社の概要について、教えてください。

清水 医療機器、光学・測定機器、食品機械用等の精密板金加工から溶接まで一貫生産しています。医療と食品関係が中心で、受注の約半分以上を占めています。取引先は100社ほどで、うち毎月お取引があるのが約半数です。材料はステンレスが中心で、鉄系、アルミにも対応可能です。特に、アルミは溶接技術が必要になりますが、品質を含めてお客様から大変喜ばれています。板厚はステンレスが0.8～3.0mm、鉄系が0.5mm～6.0mm、アルミが0.5mm～5.0mmです。試作から量産まで対応可能で、ロットに合わせて金型プレス加工のコストダウンにも対応しています。

お客様の商品価値を高めることが、私たちの役目だと思っています。当社では「QCD+C」を掲げており、「+C」はコミュニケーションの「C」で、お客様とのコミュニケーションを大切にしてお客様の求めているニーズを細かく確認します。技術力と加工ノウハウによる提案力、高効率な設備を活用したコストダウン、そしてデザイン的に

複雑で他社では困難な加工でも対応可能ですので、こうした強みを生かし、開発段階からお客様と一緒に取り組んでいます。

■新工場の建設の目的を教えてください。

清水 新座工場（新座市）で30年間続けてきましたが、お客様の幅も広がり、求められることも多様化してきましたので、生産能力の限界を感じていました。また、溶接工程が2階にあたり、検査室が狭かったり、出荷場所に屋根がないので雨対策が必要だったり、何かと不便で手狭でした。新座工場で困っていた課題等を解決し、理想の工場を目指して新工場の建設を決断しました。

同時に工場建設のノウハウを持つ人材を探していたところ、大手企業で工場長の経験者を生産企画・事業推進本部長として採用することができ、新工場建設の中心的な役割を担っていただきました。他の経営幹部にも意見やアイデアを聞くなどして、一緒になって材料投入から前加工、曲げ加工、溶接、検査、出荷までの最適な作業動線、設備レイアウトなど決めました。今のところ、何のストレスも感じることなく作業を行うことができます。

今思えば、当時は社長としての決断・確認、関係

信頼できる良きパートナーとして高い技術力と確かな品質をお届けする



工場スペースに合わせた12段・10列の自動倉庫（奥壁面）と、この自動倉庫との連動で24時間無人加工にも対応可能なファイバーレーザーパンチ複合機（手前）



軒下が10mあるので降雨時やウィング車でも楽に積み込みが可能



打合せスペースに並ぶ技術PR用の製品の数々



自家消費型の太陽光発電システム（左）や窒素発生装置（右）を導入し、脱炭素化にも取り組んでいる



機関との折衝・申請、プロジェクトチームのアクセルを踏んだりブレーキをかけたりと大変でした。この新工場建設をチャンスとし、市場ニーズに迅速に対応できる生産プロセスの柔軟性や最適化を、積極的にアピールして営業展開したことで、新規のお客様からの案件増につながりました。

■新工場での生産効率はどうですか。

清水 新座工場では仕掛品がたくさんありましたが、新しく生産管理システムを導入したことで、工程の見える化が進みました。全従業員がiPadを持ち、工程ごとに「着手」と「完了」をバーコードで入力していますので、タイムリーに事務所にあるモニターで、製品がどの工程にあるのかを確認することができます。リピート品であれば、これまでの作業実績データとの比較で進捗度合いを確認することもできます。

また、iPadで図面を見ることもできますので、ペーパーだけでなく画面を拡大すれば細かい数字も見やすくなりますし、使用治具、加工ポイントの確認・保存もできます。

「やるべき仕事を、やるべき時間に、やるべき工程が仕事をこなす」というあるべき姿が見える

ようになってきました。従業員と同じベクトルに向かって仕事ができるということは、幸せなことだと思います。

工程間の移動の無駄をなくす自動搬送システムの導入や、新たな設備投資用のスペースも確保していますので、これからもさらなる自動化、省人化のためのスマートデジタル工場を構築していきたいです。

■今後の抱負や展開をお聞かせください。

清水 人材育成に力を入れています。工場板金技能検定1級3名、2級8名をはじめ、溶接技能者、品質管理検定などの取得も推進していますので、継続していきたい。そして、まだ構想段階ですが、技能伝承も進めていきたいです。短期間で技能を伝承するために、工場内に若手育成の「技能伝承スクール」を設けたいと思っています。今使っているiPadを利用して、ベテランと若手の作業動画を撮影しながら、何が違うのかを比較してみる。生徒も先生も社員であり、即戦力の人材育成に取り組む場として、展開できればと思っています。

人材育成を通じて埼玉の雇用を守り、埼玉から世界に発信できる会社を目指していきます。